

月刊

ENG O

5月号

2013年5月1日

カトリック大阪大司教区ENG Oプロジェクト

発行責任者：松村繁彦

連絡先：TEL：090-5258-5704

(平日 18時～21時)

FAX：06-7494-9845

e-mail: engo@osaka.catholic.jp

【NPO 法人カリタス釜石】へ

2013年4月1日より「仙台教区サポートセンター釜石ベース」は「NPO 法人カリタス釜石」と名称を変えスタートしました。



【震災前】

左側の建物 司祭館及び信徒会館
右正面1階 信徒ホール
2階 聖堂

【震災後】

左側の建物 釜石ベース
右正面1階 配給用物品倉庫
2階 聖堂

2013年3月7日に今まで仙台教区のボランティアベースの一つとして歩んできたカリタスジャパン釜石ベースが、NPO法人（特定非営利活動法人）として釜石市に認証され、4月1日より新たな形で歩み始めました。この出来事は、今までのささやかな私たちの活動の積み重ねと、現地の方々の力により自立の道を選び、まさに地に足のついた活動の出発であることを示し、多くの人によってまかれた種が実を結んだことを示します。自分のこととして大きな喜びで祝福し、ENG O プロジェクトも今後引き続き応援を続けます。

名称が変わっても活動内容そのものは今までと変わりません。現在、ボランティアの数が減少し、人手を必要としています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

以下に新体制のカリタス釜石についてご紹介いたします。

理事長 平賀徹夫（仙台教区司教）
副理事長 小松史郎（仙台教区司祭）
伊瀬聖子（釜石ベース長）
理事 谷垣内幸子 吉田俊雄
英隆一朗（イエズス会司祭）
監事 成井大介（前 仙台サポートセンター事務局長）

今まではカリタスのロゴマークを使用



今後は新しいロゴマークを使用



仙台サポートセンター 事務局長交代のお知らせ

仙台教区サポートセンターは、カリタスジャパンにより震災5日後の2011年3月16日に立ち上げられ、その初代事務局長として成井大介神父（神言会）が就任されました。成井神父は、当時、カリタスジャパン援助部門担当秘書でしたが、震災後

すぐに現地に入り、それから丸2年。つぎつぎとベースを立ち上げ、全国からボランティアの方々を受け入れてきました。

ベース長の選任、スタッフ探し、日々持ち上がる種々の問題に対処し、日本中、また海外からの取材に応じ、活躍されました。

3月31日をもって退任され、後任は、仙台教区の小野寺洋一神父（仙台教区司祭）となりました事をお知らせいたします。

「3011つなぐ」物産展の品を紹介いたします



東日本大震災祈念イベント「3011 つなぐ」が3月10日にサクラファミリアで開催いたしました。雨のちらつく中、足を運んで下さった方々に感謝申し上げます。そのイベント中被災地の物品販売も行われました。皆さまのご協力の賜物により当日と後日の問い合わせにも対応させていただきました。被災地のお店や工場などに対してささやかな協力をすることができました。

このたび大船渡ベースが、東北地域のいくつかの物産品について販売参考資料を作成し、ENGO プロジェクトもその資料をいただきました。今後各教会におかれまして物産展を検討しておられる団体がありましたらご相談ください。個別にご提案させていただきます。

ボランティア支援制度の変更

震災から2年を経過し、年を追うごとに、被災地の各ボランティアベースではボランティアが減少してきました。そこで、大

阪教区 ENGO プロジェクトでは、今まで2週間以上の派遣者に対して事後報告書を提出することで交通費等の補助を、皆さまの寄付金から拠出させていただいてまいりました。今後もその姿勢は変わりませんが、2週間以上の参加は現実的に厳しいものであると考え、次のようにボランティアへ行く方々を支援いたします。少しでも被災地へ行くことができればと願うばかりです。4月1日から始まったこの制度を是非ご利用ください。

ボランティア支援制度

(交通費等補助支援制度)

1週間（往復の日程を含み、
実質作業5日以上）
条件：①事前申し込み＆面談
②事後報告書提出
補助：**30,000円**
(報告書提出後振込)

2週間（往復の日程を含み、
実質作業10日以上）
条件：①事前面談＆面談
②事後報告書提出
補助：**50,000円**
(報告書提出後振込)

*問合せ・申込みは ENGO プロジェクトまで
面談・対応：ENGO プロジェクト担当司祭
(神田神父・松村神父・春名神父)

パネルの貸出しについて

引き続きパネルの貸し出しを行ってまいります。ご利用ご希望の方はお気軽にご連絡ください。



(A3版 28枚セット)